



ごあいさつ 平成26年も誠にお世話になりました。

今回は千葉市の施設管理を中心に一般質問を行いました。その要旨を皆様にお伝え致します。平成27年も必要な政策を選択し、提案してまいる所存です。宜しく願い申し上げます。災害が日本各地で多発しています。想定外を極力避けられるよう、対応可能にする為、活動をして参りたいと思います。

平成 26 年第 4 回定例会一般質疑 平成 26 年 12 月 12 日

1、公共施設等の総合的管理の推進について

質問)

- ①市では資産カルテを作った、総合的管理策定のスケジュールはどうか。
- ②千葉市稲毛海浜公園プールの利用状況・収支状況はどうなっているか。
- ③アクアリンク千葉の収支状況と市への利益の還元状況はどうなっているのか。

回答)

- ①平成 27 年度当初を目途に策定を進めている。今後は、資産経営推進委員会における審議を経て計画案を作成する。
- ②答弁を右下の表にまとめました。また昭和 52 年の開設時の費用は約 24 億円、その後の主な修繕費用は、約 16 億円。
- ③初期の整氷等は管理者が負担、本年度から 50 万円～100 万円毎年還元される見通し。

ズバリ！要望)

- ・ 35 年で約 40 億円かかっている、毎年 1 億円の収益が望ましい。食事の提供・トイレ・シャワー室の改善、プール売店品目（若い女性の要望にも堪え得る水着・浮き輪等のグッズ販売）の充実等で収支の改善がはかれる。
- ・ プール・スケート場とも、ネーミングライツ（命名権数百万円）を募集した頃はデフレ、改めて募集すべき。千葉市稲毛海浜公園プールの名前自体を親しみある短い名称に改名すべき。
- ・ アクアリンク千葉も管理者の初期投資の回収が一段落し、千葉市へ収益の還元が始まる事となり良かった。

②稲毛海浜公園プールの収支・利用者状況

	H24 年(決算)	H25 年(決算)
収入	2億0339万円	1億8121万円
支出(千葉市へ 948 万円)	1億3209万円	1億4827万円
収支	7130万円	3293万円
利用者	275,469人	253,854人

*支出は上下水道料金(1,273 万円)、管理費(6,142 万円、清掃、監視等)

2、市営住宅について

質問)

- ①平成 24 年から 10 年間の計画で、管理戸数が約 300 戸の減となる、横浜市、川崎市、さいたま市も併せ管理戸数は。
- ②財源内訳は、国からの交付金（50%）の他、市債や住宅使用料などで賄われている。住宅使用料の算定は、市町村の裁量がある、利便性係数の本市の設定方法は。
- ③園生第 2 団地の駐車場も含めた再整備計画はどうなっているか。

回答)

- ①答弁を右の表にまとめました。
- ②利便性係数は、公共住宅施工令の規定により、0.5 から 1.3 の範囲で設定することができる。本市は、0.7 から 1.0 として設定している。
- ③平成 29 年度、従前戸数 38 戸に 164 戸を計画。戸数の 60%以上駐車場を整備。

ズバリ！要望)

- ・ 国や市の補助金もあり、空き家問題との兼ね合いを考えこれ以上建設すべきでない、公費で空き家を作っているようなもの。
- ・ 家賃の利便性係数は裁量があるので広く設定すべき。便利な住宅や新しい住宅の家賃は、近隣の住宅同様高く設定し、古いものや不便なものはメリハリをつけた家賃設定をすべき。
- ・ 園生町第 2 団地予定地では近隣住宅の増加が激しく、駐車場が不足している。公費の入った、市営住宅の駐車場が充分で、近隣の駐車場が不足では不公平。どうしても再建設するなら、近隣住宅に対し駐車場の整備を。

3、保育所・保育園について

質問)

- ①民営化する予定の寒川保育所での保護者の意向や反応は。
- ②公立保育所として建替えを行った場合と比べ、本市の負担は、どの程度削減されたのか。
- ③千城台東第二保育所と幸第三保育所の、認定こども園化で、保育を必要としない 3 歳以上児いわゆる 1 号児童の募集内容と選考方法・はどうなっているか。
- ④認定こども園の 1 日の流れはどうなっているか。



回答)

- ①2年6か月前から説明会を開催、丁寧な説明を心がけてきたが特段の反対もなく、保護者の皆様にはご理解いただいている。
- ②90人規模の保育園の場合、約1億7200万円となり、公立保育所として整備する場合は全額だが、民間保育園の場合は、市の負担は、約1400万円程度となり、この差額、約1億5800万円が削減されたといえる。
- ③募集は、12月1日から1月7日まで、保健福祉センターで受付けている。定員は、3、4、5歳の年齢ごとに2名ずつ、合計で12名とし、定員を超えた場合は、公開抽選を行なう予定です。
- ④1号児童が登園する9時から、13時30分を教育時間とし、その他は、遊びを中心とした教育の実施を行なう予定です。

ズバリ！ 要望)

私の考える保育の形態のベストは社会福祉法人、公募の際は評価を上げてほしい、ゆっくり民営化するから株式会社になる。批判の声には慎重に対応すべきだが、人気のある民営の保育園は多い。地域性に鑑み民営化、認定子ども園化を進めて欲しい。

4、公民館について

質問)

- ①公民館を社会教育法に基づく教育施設として運営しているが、今後も教育施設として運営して行こうと考えているのか、それとも市民の利便性を高める地域の交流施設として運営して行こうと考えているのか。
- ②指定管理者制度や地域管理を導入した場合のメリットやデメリットについてはどのように考えているのか。

回答)

- ①社会教育施設としての機能はもちろん、地域の交流拠点としての機能を両立させる。
- ②メリットはサービスのより一層の向上。なお、サービスの低下につながるコスト削減の例が一部見られるなどのデメリットもある。



ズバリ！ 要望)

答弁の通り市民のニーズに適應した講座を開催する事、サークル活動の支援に加え、地域の総合交流拠点、東日本大震災以降、災害時の拠点としての役割も期待される。指定管理者制度を導入する際は、民間の活力で市民サービスのより一層の向上が望まれる、また、かつての社会教育主事のような役割が管理者に望まれる。

公民館の地域管理については、住民の民意を反映させる有力な手法。一方、提供する市民サービスの安定性・継続性や施設管理に伴うリスク負担等を考慮し、慎重な検討と段階的な導入を望む。

5、農業関連施設の有効活用について

質問)

- ①農政センター、都市農業交流センター、ふるさと農園、子和清水（いきいき体験農場）用地の各施設の現在の利用状況で当初の目的に沿った機能を果たしているのか。
- ②農政センターの管理構想や方針はあるのか。
- ③ふるさと農園の老朽化にあわせて、新たな活用策は検討しているのか。
- ④子和清水用地は地域の方々と我が自民党会派でパーク＆ライドの適地として提案済み、どのように検討されているのか。



回答)

- ①農政センターは、機能の選択と集中が必要である。都市農業交流センターの3施設は、それぞれの魅力を生かした活用が図られている。ふるさと農園は、施設が十分に機能している。子和清水用地はいきいき体験事業が、平成14年に中止決定され、一部の用地を有効活用に向け埋立てを行い、全庁的な検討を進めている。下田都市農業交流センターは、地産地消の拠点施設として。中田都市農業交流センターは、全398区画に及ぶ市民農園が整備されている。ふるさと農園は、農業体験施設として活用されている。また、子和清水用地はプール利用者の臨時駐車場として活用されおり、その他は、未利用の状況である。
- ②農業後継者育成を目的に、市内種苗会社との連携の下に、農業所得の向上に結びつく、有用品種の試験栽培に取り組んでいる。
- ③ふるさと農園は、指定管理者との管理委託契約期間が平成28年3月までとなり、満了の目途を進める。
- ④パーク＆ライド方式の可能性について協議を開始する。今後は、駐車場の規模や一般路線バスとの結節などの検討が必要。

ズバリ！ 要望)

- ・農政センターは本市農業の拠点、民間事業者とも連携し、本市農業振興に貢献してほしい。
- ・ふるさと農園は、関係機関であるJAのほか民間企業なども含めた多角的な検討を進め、ふるさとの館と農園部分を、一括で有効活用することを要望する。
- ・子和清水用地は、パーク＆ライド用地として、また混雑しているプールの駐車場に早期に活用して欲しい。

小松崎ふみよし・プロフィール

昭和45年(1970)4月30日生まれ
稲毛幼稚園卒業(現在、評議員)
千葉市立山王小学校卒業
千葉市立積橋中学校卒業
千葉県立千葉北高等学校卒業
(現在 同窓会副会長)

法政大学法学部法律学科卒業
(現在、校友会千葉中央支部常任幹事)
衆議院議員うすい日出男秘書10年
公設第一秘書にて退職
千葉市議会議員(稲毛区選出)2期当選
総務委員長
自民党千葉市連青年局長

千葉市第37地区町内自治会連絡協議
会顧問(山王中学校区)
千葉市少年軟式野球連盟顧問
稲毛区少年軟式野球連盟顧問
千葉市アーチェリー協会会長

事務所

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町112-1
電話：043-424-0001 FAX：043-421-6667
E-mail：fumiyoshi@joy.hi-ho.ne.jp
事務所開設時間【水・金】10:00-12:00
【水】 13:00-16:00

(不在時は小松崎本人の携帯に転送されます)
お問合わせ・ご意見お待ちしております。

